

第3回農産物を活かした地域デザインセミナー

講演テーマ 「パッケージデザインを農業に活かす」

講師 野口 正治氏 ノグチデザインスタジオ/代表



経歴

1946年栃木県生まれ

武蔵野美術大学基礎デザイン学科非常勤講師。

1969年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。GKインダストリアルデザイン研究所入社。1986年有限会社スタジオコムテック設立。川崎市産業振興財団専門家、社団法人かながわデザイン機構副理事長などを歴任。地域およびまちづくりのデザインマネジメント。食品・医療医薬品等のデザインに関わる。

東京都若手商人育成事業アドバイザー。日本グラフィックデザイナー協会会員。

パッケージデザインの世界

パッケージは、日本語に訳すと「包装」という意味です。「包」という漢字の起源を辿ると、お腹の中で命を育てている状態を表わしています。お腹の中で子供をやさしく包んで守っているようにみえます。「装」は、うつくしく見えるように飾るという意味に用いられます。「包装」とは、やさしく包んでうつくしく飾ることと言えましょう。

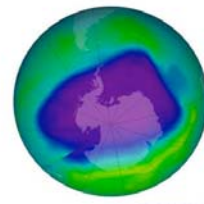
自然界をみると、卵は、殻という包によって大切ないのちが守られています。さらに、その卵を包む巣もひとつのパッケージといえるのではないのでしょうか。

写真の巣は、偶然都会の真ん中で見つけたものです。よく見ると木の枝に混じってビニールや糸くずなどのゴミがからまっています。身近にあるものを使って、必要がなくなると元に。つまり、自然に還るということで良く考えてあると思います。

野菜のそらまめです。なかの豆を真綿のようなもので包み、さらに殻で包まれています。

人が包まれるということでは、宇宙服はまさに生命を守るパッケージと言えるでしょう。

さらに、地球という惑星も大気というパッケージに包まれているのではないのでしょうか。しかし、近年オゾン層の破壊によって、地球の生命を守る大気が壊され、さまざまな地球環境への影響が問題視されています。



パッケージの領域

ひとまとめにする

では、どういうものがパッケージの領域なのでしょう？「包む」他に「ひとまとめにする」という意味があります。例えば、災害時の緊急用避難セットがあります。そこには、必要最低限のものが隙間なく機能的に収納されています。背中に背負うバックパックも必要なものをひとまとめにするという意味でパッケージと言えます。自動販売機は、飲み物を冷やして、ひとまとめにしておくということで、便利なパッケージ機器であると言えます。



空間としてのパッケージ

建築家である坂茂の設計した、段ボール製の数寄屋造りの茶室があります。茶室というのは、主人とお客さんが相對する濃密で閉ざされた空間です。日常生活としての「家」や仕事をする「オフィス」も空間を包むパッケージだといえるのではないのでしょうか。



コンビニも店舗という空間を包むパッケージといえます。皆さんが普段利用しているお店の中に入ってみると数え切れないほどの商品パッケージが、整然と陳列されています。その規格は統一され、秩序を乱すような規格外の商品は存在しません。そしてそれらのパッケージは、皆さんのポケットやバッグの中にもあるのです。



情報としてのパッケージ

モノや空間をパッケージするほかに、「パッケージツアー」とよばれている旅行者の様々なプランをパックしたサービスがあります。これも情報をひとまとめに詰め込んだパッケージといえます。

ものであふれた社会は豊かですか

はたして、モノやパッケージで溢れた社会は豊かなのでしょうか？大量に消費されるパッケージは、大量のゴミを生んでいます。ゴミとして捨てると同時にパッケージも捨てています。これらが、海岸に捨てられ、放置されたゴミの山がうつくしい景観を汚しています。つまり、パッケージは生活そのものだといえるのではないのでしょうか。パッケージを考えることは、生活を考えること。パッケージをデザインすることは、生活をデザインすることです。



ひとはなぜ包むのか

心を包む伝統的なパッケージを紹介します。そこには、「包む」という行為に意味と愛情と洗練さがあります。貨幣を包む和紙の袋には、美しい水引が巻かれ、贈る人の心情を表わしています。

最上地方に古くから伝わるたまごのつとは、わらにたまごを巻いて包んだみやげものです。病気見舞いや祝いのごちそうに使われました。また、わらで編んだなんば編は、野菜や果物を干すという極めて単純な保存方法です。柿や大根、トウモロコシにもみられ、非常にシンプルで美しいパッケージです。さらに、能登地方に行くと、ブリを乾燥させてわらを巻いた保存食があります。わらを下からほどこきながら食べます。ちまきは、端午の節句の祝い菓子。関東では柏をまいた餅が一般的ですが、関西では、餅を笹の葉や竹の皮などをい草でまいて包んでいます。神社に奉納されたお酒のこも（ムシロ）かぶりです。米でつくられたお酒を樽に入れて、米のむしろで包んでいます。

風呂敷も様々な形に変身する布の包です。一枚の布がお酒の一升瓶を包み手提げ袋に変身します。包むことは内と外を隔て、清いものを差し上げるという、送る側の心をも表わしています。包みかたにも作法があり、この風呂敷には2羽の織りツルが中心になるように描かれています。

昔からよく使われていた包み紙に新聞紙があります。包装素材としては大変優れたリユース素材です。どこの家庭にもあり、緩衝材として、通気性や保湿の面から見ても優れています。



パッケージの機能

パッケージを成立させる大事な機能があります。

中身を保護する PROTECT。便利にする CONVENIENCE。情報化する INFORMATION。環境に配慮する ECOLOGY 機能です。

液体をこぼさないように移動するにはどうすればよいのでしょうか。水を入れた容器は持ち運びには不便です。ふたの付いたボトルは中身を保護するのに便利です。中身が水なのかアルコールなのかわからないので、中身を情報化する必要があります。環境に配慮するには、リサイクルができる素材を選びます。持ちやすくする様々な形状が身の回りにはたくさんあります。最近では、資源の保護を考えて、繰り返し使えるマイボトルや、タンブラーを使うことが流行っています。



「中身を保護する」

壊れやすいもののパッケージを考えてみます。先ほど紹介した、材料にわらを使って包んだものですが、不用になったら自然に還することができる環境に優しい素材です。パルプモールドを使った卵のパック容器があります。これは、古紙を水で溶かし、金網ですきあげ乾燥してできる紙製の成型品です。繊維同士が水素結合し自己接着をしているので、水に溶けやすく、焼却した時に出る CO2 の排出量が少ないという利点があります。ただし、中身が見えないことや包材のコストが高いことがあげられます。現在では OA 機器などの梱包材として使われることが多い素材です。

次は、様々なものを包んで運ぶパッケージです。

通販サイト大手のアマゾンの梱包を見てみると、内側に、商品にのりが付かないよう弱い粘着剤がついた封筒や段ボール箱があります。輸送中に商品がずれて痛むのを防いでくれます。また、緩衝材が不用で、簡単に中身が取り出せるワンタッチオープンがユーザーにとってはうれしい機能です。ケアマーク、リサイクルマークもわかりやすくできています。

都内にあるケーキ屋さん、フランスの郵政省の小包をモチーフにしています。一枚のダンボールから、折り紙のように糊を一切使わず組み立てることができます。店舗の在庫スペースを小さくすることができます。



空気を利用するパッケージ。エアパッキングやビニール袋があります。空気で包んでガラス容器や陶磁器など壊れやすいものを保護します。空気そのものがパッケージといえるでしょう。落下や衝撃に強く、膨らんだ状態で自立するので中身がよく見えるということで機能的です。

水戸にある農家が考えた野菜のパッケージデザインです。空気でつぶれない正四辺形の野菜パック「パットラス」です。筒状の透明シートを片方90度傾けてシールする極めてシンプルな構造とかたちでグッドデザイン特別賞を受賞しました。潰れやすいベビーリーフ等の野菜やポテトチップスを入れることができ、シール部分の矢印を左右に開ければそのままお皿としても使えます。



「便利にする」

台所で一升瓶から卓上容器に移し替えて使っていたしょうゆを工場から直接食卓へ。40年以上のロングセラーの醤油瓶は、そそぎやすく液だれのしない使いやすい形状の容器パッケージです。



次は、お酒の容器パッケージ。とっくりとおちょこをセットにして、いつでもどこでもお酒を楽しめる便利さがあります。便利なコンビニのおにぎりパッケージ。ご飯と海苔の間に挟まれた一枚のシート。口に入れるその瞬間までパリパリとした海苔が味わえ、手を汚さずに食べられます。



最近、単身者・小家族・高齢化むけに、より少なく小さく、手間をかけない食材が増えています。食に対する時間のかけ方が変化してきています。食事から時間を惜しむ食時へ。「10秒メシ」というキャッチフレーズの飲むゼリーが売られています。



パッケージのバリエーションには、ファミリーやパックがあります。

スポーツドリンクでみられる2Lから200mlまで様々な用途に合わせた容量。缶ビールの6個入りや24個入りパック。



最も小さいパッケージは風邪薬のカプセル。おなかで溶けて無くなるパッケージです。また、錠剤のような粒状のものを保護するアルミパックがあります。直接薬に触れず、衛生的で、持ち運びに便利です。以前は、錠剤パックを1個ずつ切り離せるようにスリットを入れていました。高齢者や子供の誤飲を無くすため、パック毎飲まないよう縦の切り込みを無くしました。

30年以上も前にデザインされた、家庭救急セット「ホームドクター」のパッケージです。いざという時に見つからなかったり、置き場所がばらばらだったり、中身が取り出しづらかったという経験から、本棚に収納ができるパッケージを考案しました。救急時に便利なエマージェンシーデザインです。



「情報化する」

食品パッケージの表面には、様々な表示が義務づけられています。使われている食材などの情報は公正競争規約で表示内容、順番、活字の大きさが決められています。さらに、遺伝子組み換え食品としての表示、アレルギー物質の表示義務など食品衛生法やJAS法により厳しく管理されています。

最近では、栄養改善法にもとづく栄養過多による肥満、成人病を防ぐため、食生活のコントロールが重要になりつつあり栄養成分表示が大切になっています。

文字以外にも、商品を管理するための JAN コードという13桁のバーコードがあります。消毒薬につけられた商品を管理する JAN コードと GS1 コード。現行の13桁から15桁へ。小さなコードで多くの情報量が可能なので、注射器やアンプルなどの製品に導入されることになりました。この他にも、消



費者向け情報として生産者や施遺産履歴を記した二次元コード（QRコード）があります。

視覚以外にも触覚による表示情報があります。冷蔵庫の牛乳パックは高齢者や視覚障害者にわかり易いように、トップに切りかきを付けて果汁飲料と区別しています。

お風呂場では、洗髪中のシャンプーとリンスを区別し易いようにシャンプーに突起パターンをつけています。フランスにある香水メーカー「ロクシタン」では、すべての香水の外箱に点字を記載しています。

昔懐かしい焼き芋を包むパッケージ。包みを通して手に伝わる熱も大事な情報です。熱い触覚情報がおいしさをより感じさせます。



公正、環境マークについて

フェアトレード「公平な貿易」商品のカフェオレ。グローバルな貿易の仕組みは、開発途上国の人々にとって、時にアンフェアで貧困を拡大させるものだという問題意識から、南北の経済格差を解消するもう一つの貿易の形として始まった運動がフェアトレードです。参加する企業の製品には、このマークが付けられています。

スウェーデンにある車メーカー「VOLVO」がはじめた EPD (Environment Product Declarations) マークがあります。EPD マークとは、1998 年スウェーデンで始まり、日本など 8 カ国の組織が認証を受けている国際的な環境マークです。このマークが付いている製品は、その製品の一生の環境影響はどのくらいかという情報を、ウェブサイトで公開されています。

カフェラテに付けられたカエルのマークは、レインフォレストアライアンスの認証マーク。1987 年熱帯雨林や野生動植物の保護を目的に始まった運動



農家のパッケージデザイン

新潟の農家の自然農業でつくられたお米とたまごのギフトセットです。パッケージに仏教からくる「身土不二」という人と大地のつながりを論じた言葉や、「大地通信」という冊子をつけて、生産者の思いを丁寧に表現し、情報化させています。作り手の気持ちが真剣に伝わってきます。



仕掛けのパッケージ

ガムのパッケージにペンギンが 5 匹のイラスト。たまに反対向きのペンギンが混じっています。エビスビールの瓶のラベルにも、通常のものに加え、稀に、鯛が二匹描かれている「ラッキーエビス」があります。あえてメーカーが宣伝しなくても見つけた消費者の遊び心をくすぐりロコミを狙う仕掛けのデザインです。他にも、カバンの入っていたダンボールを組み立てると、ひとつのオブジェ「テレビ」になるというものや、キャップをまわすと音が出るものや、開封時の音と破く行為、びりびりと破く楽しさを与えるパッケージもあります。



「環境に配慮する」

リサイクルマークの表示

パッケージには様々なリサイクルマークがつけられています。アメリカ発祥の三角形のマークは、1～7 番までプラスチックの種類に応じてあります。日本では、このうち1 番のペットがリサイクル法で表示が義務づけられています。

空き缶リサイクル法は、△マークがアルミ缶、○いマークのスチール缶の表示があります。

2001 年の容器包装リサイクル法により紙製容器の紙マーク、ペットを除くプラマークの表示が義務化された。その他にも、法的義務は無いものの自主的に採用している紙パックや段ボールのマークがあります。

このオーガニックワインのボトルはペット製で、瓶の 10 分の 1 の重さなので輸送にかかるコストと CO2 の削減ができます。最軽量の水のペットボトルは重量が 12g ほどで、従来と比べペットに使う化石燃料を 40%削減させています。つぶされたボトルは、容積は 1/4 に、重量は 2/3 になります。

また、強度は低下してしまうので、空いたスペースに窒素充填することによって強度を維持しています。

アルミ缶の飲料は、資源を省力化するため軽量化で強度の低下を防ぐためにダイヤパターンを入れています。

省資源のためのさまざまな詰め替え容器。お風呂場での入れ替えはめんどくさく、さまざまなアイデアや詰め替え口がデザインされています。



カーボンフットプリントについて

CO₂ を削減するために、カーボンフットプリント商品のテスト販売が始められました。消費者に対し環境への意識を芽生えさせ、新しい形での商品選択にして欲しいという取り組みです。製品の原料の採取、製造から流通、廃棄まで製品のライフサイクルにおける CO₂ の排出量を表示しています。飲食店のメニューやスーパー、食品以外にも、陸海空の移動手段、宅配便、印刷会社でも表示されていくのではないかと思います。



フライターグのバッグ

「FRETAG」というバッグがスイスから世界的にヒットしています。バッグの素材は、使用済みのトラックの幌や、シートベルト、自転車のチューブを使って世界に一つしかないバッグを作っています。素材は、全て一度廃棄物として処分されたものです。ゴミを再利用する環境にやさしいデザインです。パッケージデザインも大変ユニークです。段ボール製の箱は、引出しの付いた店舗什器として使用されディスプレイされています。ユーザーは、バッグを取り出した後、紙のテレビのオブジェとして組み立てて遊ぶことができます。捨てられて、自分たちのブランドから廃棄物が出ないよう。



生活とパッケージデザイン

消費者から生活者へ

かしこい消費者から生活者へ視点を変えてみる。

わくわくドキドキする消費から生き生き生きる日常へ。

私たちも「消費者」から、賢い「生活者」へと意識を変える必要があると思います。

パッケージデザインの世界でも、消費としてではなく生活を考えてデザインするべきだと思います。パッケージとは生活であり、そして、環境と密接に関わっているものだと思います。

